



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 芝浦メカトロニクス株式会社
 コード番号 6590 URL <http://www.shibaura.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 藤田 茂樹
 (氏名) 道嶋 仁

TEL 045-897-2425

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	29,173	25.9	△110	—	8	—	△433	—
26年3月期第3四半期	23,168	26.0	△521	—	△651	—	△820	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 △220百万円 (—%) 26年3月期第3四半期 △708百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	△8.78	—
26年3月期第3四半期	△16.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	57,741	14,743	25.5	298.41
26年3月期	47,601	15,063	31.6	304.87

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 14,743百万円 26年3月期 15,063百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では27年3月期の期末配当予想額は未定であります。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	19.4	1,000	35.9	1,000	78.5	600	55.0	12.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	51,926,194 株	26年3月期	51,926,194 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	2,518,162 株	26年3月期	2,516,890 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	49,409,077 株	26年3月期3Q	49,410,555 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①業績全般について

当第3四半期連結累計期間における当社グループの事業環境は、海外では中国の経済減速不安など様々なリスクがあり、国内では急激に円安が進行する中で景気は回復の兆しが見られるものの総じて先行き不透明な状況が続きました。

このような状況において、液晶パネル分野は大型パネル向けの受注が継続しました。また、スマートフォンやタブレットなどモバイル機器用中小型パネル向けの受注が増加しました。

半導体分野は、先端分野での受注が増加しました。

こうした中で、当第3四半期連結累計期間の業績は、受注高は31,534百万円（前年同期比21.0%増）、売上高は29,173百万円（前年同期比25.9%増）、営業損失は110百万円（前年同期は営業損失521百万円）となりました。経常利益は、円安の進行により為替差益が347百万円生じたこと、および為替予約に伴うデリバティブ評価損172百万円が生じたこと等により8百万円（前年同期は経常損失651百万円）となりました。四半期純損失は、当社が福井県小浜市に所有する土地の賃貸事業拡大のため、固定資産売却損48百万円と敷地整備費用等44百万円を事業構造改善費用93百万円として、および環境対策費71百万円を特別損失に計上したこと等により433百万円（前年同期は四半期純損失820百万円）となりました。

②セグメントの業績について

(ファインメカトロニクス部門)

液晶パネル前工程では、大型パネル分野の新規設備投資などにより売上が増加し、半導体前工程では、先端分野での受注、売上が増加しました。しかしながら生産増に伴うサプライチェーンの構築においてロスが発生したことと、円安の影響により原材料の調達CDが計画未達となったこと等の理由により営業費用が増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は15,975百万円（前年同期比26.1%増）、セグメント損失は521百万円（前年同期はセグメント損失215百万円）となりました。

(メカトロニクスシステム部門)

液晶パネル後工程では、大型パネル分野およびスマートフォンやタブレットなどモバイル機器用中小型パネル向けの両方において受注、売上ともに増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は10,597百万円（前年同期比40.7%増）、セグメント利益は354百万円（前年同期はセグメント損失320百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ10,140百万円増加し57,741百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ10,075百万円増加し44,616百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が増加したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ65百万円増加し13,125百万円となりました。これは主に、減価償却等による減少がありましたが、建設仮勘定が増加したことによります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ10,460百万円増加し42,998百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金、借入金が増加したことによります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ319百万円減少し14,743百万円となりました。これは主に、四半期純損失の計上により利益剰余金が減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成26年4月24日に公表いたしました業績予想の売上高には変更はありませんが、営業利益、経常利益、当期純利益は、生産増に伴うサプライチェーンの構築においてロスが発生していることと、円安の影響により原材料の調達CDが計画未達となっていること等の理由により、誠に遺憾ながら前回予想を下回る見込みとなりましたので業績予想を修正いたします。なお、当該予想に関する詳細は、本日（平成27年1月29日）に公表いたしました「平成27年3月期 業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、当社の業績は、第2および第4四半期に売上が集中する傾向があるため、四半期別の業績には変動があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、税引前四半期純利益に法定実効税率をベースとした年間予測税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,987	5,017
受取手形及び売掛金	23,209	30,729
商品及び製品	1,747	2,074
仕掛品	3,901	4,377
原材料及び貯蔵品	155	154
繰延税金資産	706	477
未収入金	581	1,217
その他	345	630
貸倒引当金	△94	△62
流動資産合計	34,541	44,616
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,442	28,261
減価償却累計額	△18,369	△18,589
建物及び構築物(純額)	10,073	9,672
機械装置及び運搬具	2,452	2,816
減価償却累計額	△1,877	△2,160
機械装置及び運搬具(純額)	575	655
工具、器具及び備品	542	579
減価償却累計額	△458	△473
工具、器具及び備品(純額)	83	106
土地	119	119
リース資産	456	369
減価償却累計額	△298	△249
リース資産(純額)	158	120
建設仮勘定	646	1,144
有形固定資産合計	11,656	11,818
無形固定資産		
特許権	362	365
リース資産	7	0
その他	292	221
無形固定資産合計	662	586
投資その他の資産		
投資有価証券	111	120
長期前払費用	5	7
繰延税金資産	234	216
その他	390	376
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	740	719
固定資産合計	13,059	13,125
資産合計	47,601	57,741

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,503	13,900
短期借入金	8,118	10,425
1年内返済予定の長期借入金	2,000	1,700
リース債務	56	39
未払法人税等	190	59
未払費用	2,190	2,532
前受金	392	583
役員賞与引当金	23	25
受注損失引当金	7	137
資産除去債務	11	—
その他	520	478
流動負債合計	22,014	29,883
固定負債		
長期借入金	700	3,300
リース債務	123	93
長期未払金	19	4
退職給付に係る負債	6,172	6,207
役員退職慰労引当金	13	11
修繕引当金	403	392
資産除去債務	33	33
長期預り保証金	3,057	3,072
固定負債合計	10,523	13,114
負債合計	32,537	42,998
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,761	6,761
資本剰余金	9,107	9,107
利益剰余金	1,788	1,256
自己株式	△1,720	△1,721
株主資本合計	15,937	15,404
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21	28
為替換算調整勘定	312	326
退職給付に係る調整累計額	△1,208	△1,015
その他の包括利益累計額合計	△873	△660
純資産合計	15,063	14,743
負債純資産合計	47,601	57,741

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	23,168	29,173
売上原価	17,947	22,929
売上総利益	5,221	6,244
販売費及び一般管理費	5,742	6,355
営業損失(△)	△521	△110
営業外収益		
受取利息	8	9
受取配当金	3	1
為替差益	—	347
投資有価証券売却益	52	—
保険解約返戻金	30	21
その他	40	69
営業外収益合計	135	449
営業外費用		
支払利息	117	109
為替差損	38	—
デリバティブ評価損	26	172
その他	84	46
営業外費用合計	265	329
経常利益又は経常損失(△)	△651	8
特別損失		
事業構造改善費用	—	93
環境対策費	—	71
特別損失合計	—	165
税金等調整前四半期純損失(△)	△651	△156
法人税、住民税及び事業税	42	31
法人税等調整額	125	245
法人税等合計	168	276
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△820	△433
四半期純損失(△)	△820	△433

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△820	△433
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9	6
為替換算調整勘定	121	13
退職給付に係る調整額	—	192
その他の包括利益合計	111	213
四半期包括利益	△708	△220
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△708	△220

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	ファインメカ トロニクス	メカトロニク スシステム	流通機器 システム	不動産賃貸	
売上高					
外部顧客への売上高	12,664	7,531	1,499	1,473	23,168
セグメント間の内部売上高又は振替高	18	94	1	—	114
計	12,683	7,625	1,501	1,473	23,283
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△215	△320	△31	287	△279

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△279
全社費用(注)	△212
その他	△159
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△651

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の研究開発費のうち全社共通に係る要素開発費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	ファインメカ トロニクス	メカトロニク システム	流通機器 システム	不動産賃貸	
売上高					
外部顧客への売上高	15,975	10,597	1,130	1,470	29,173
セグメント間の内部売上高又は振替高	8	137	0	—	146
計	15,984	10,734	1,130	1,470	29,320
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△521	354	△71	336	98

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	98
全社費用(注)	△218
その他	129
四半期連結損益計算書の経常利益	8

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の研究開発費のうち全社共通に係る要素開発費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。